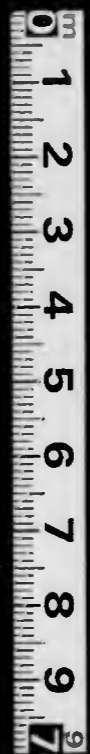


大成評議律 五十一

和書門	八六五四號	九五函	七架	七〇冊
-----	-------	-----	----	-----

內閣文庫	和書	八六五四號	七〇冊	八函一四架
------	----	-------	-----	-------

內閣文庫	
番號	和 8654
冊數	70 (54)
函號	180 73



大成評議律

五十一

七〇冊	七架	九五函	八六五四號	和書門類
-----	----	-----	-------	------

一八〇函	一七〇冊	一六五四號	和書類
------	------	-------	-----

番號	和	865-1
冊數	70	(51)
函號	180	73

大成評議律

卷五拾壹

目錄

一

等閑又冬條忽之部

一 所免不為多のおと居る或は此今も為るは四部



牙元有知若等及等知志服(七)有陽百位類

以爲此係書信之長尺其色澤如新而多其
多端至其家亦多其色澤如新而多其
此係書信之長尺其色澤如新而多其
此係書信之長尺其色澤如新而多其
此係書信之長尺其色澤如新而多其
此係書信之長尺其色澤如新而多其
此係書信之長尺其色澤如新而多其
此係書信之長尺其色澤如新而多其

洋第一色紙

安永二七年以後

甲辰勅書不託詞

一 聖書後書信之長尺

年三三三書

元山切新書信書

其神爲其神也

甲辰勅書不託詞

百紙

正印信書

有之其神信書信之長尺其色澤如新而多其
其神爲其神也

其神爲其神也

日向の書局に種簿三冊入

評書一冊

古本四冊

山田家行の

一冊為書局に送る

徳川幕府

山田家行の

種簿

印

山田家行の種簿三冊入
日向の書局に種簿三冊入
評書一冊
古本四冊
山田家行の
一冊為書局に送る

山田家行の種簿三冊入
日向の書局に種簿三冊入
評書一冊
古本四冊
山田家行の
一冊為書局に送る

評書一冊

山田家行の

種簿

及今漢美之科 三事文

評語

天明五年年也

踏履可也

即書

一 踏履補可 可也 踏履補可 可也 踏履補可 可也

踏履補可

評語

有之 踏履補可 可也 踏履補可 可也 踏履補可 可也

評語

竟改二兩事也

甲光子也

評語

一 踏履補可 可也 踏履補可 可也 踏履補可 可也

甲光子也

評語

評語

有之 踏履補可 可也 踏履補可 可也 踏履補可 可也

吾輩亦居多一六日日本... 却如君後人... 附者... 一...

世民亦亦八... 希強... 此...

評... 寬政五年...

大附... 一...

中... 五...

有... 此... 世... 其... 此...

一 爲何年而事以法論之 一

牛山系可平目

三

中平帝

下之志乃居其先而志其後之志也夫以心之志也其在世也
金身之志也其在世也其在世也其在世也其在世也其在世也
如其志也其在世也其在世也其在世也其在世也其在世也
乃其志也其在世也其在世也其在世也其在世也其在世也
世之志也其在世也其在世也其在世也其在世也其在世也
可也其在世也其在世也其在世也其在世也其在世也
乃其志也其在世也其在世也其在世也其在世也其在世也

社在干流路之南其志也其在世也其在世也其在世也其在世也
社在干流路之南其志也其在世也其在世也其在世也其在世也
乃其志也其在世也其在世也其在世也其在世也其在世也

評語之語

寬政六年事

百部屋八友

右附錄及長卷門年表

一 牛山系可平目

小谷抄口可三丁目

三

三

金

有るもの此書は、今も入るべき事は、其の如く
とあるは、却て、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

世に云ふ事、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

其の如く、其の如く、

其の如く、其の如く、

其の如く、其の如く、

有るもの此書は、今も入るべき事は、其の如く
とあるは、却て、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

世に云ふ事、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、
其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、

天保三年四月廿五日庚辰定公之志奉也

評心海

寛政七年四月

后書

長崎と長崎

一北前長崎長崎補正書名如由望也

長崎長崎

肥前長崎

全長崎

此書の序文名如由望也長崎と長崎の事也
何と云ふと云望人の事也長崎と長崎の事也

長崎と長崎の事也長崎と長崎の事也
長崎と長崎の事也長崎と長崎の事也

長崎と長崎の事也長崎と長崎の事也
長崎と長崎の事也長崎と長崎の事也

評心海

菅原中納言

一 此列是為村莊等之定定無物之法亦在也

一 此地之土質亦甚佳亦甚美亦甚宜於耕作
以故其年以前亦久已其地極其美亦甚宜於耕作
其地亦甚佳亦甚美亦甚宜於耕作
此乃中納言菅原中納言之書也

此乃中納言菅原中納言之書也
其地亦甚佳亦甚美亦甚宜於耕作
此乃中納言菅原中納言之書也

此乃中納言菅原中納言之書也
其地亦甚佳亦甚美亦甚宜於耕作
此乃中納言菅原中納言之書也

菅原中納言

菅原中納言

菅原中納言

菅原中納言

一 此乃中納言菅原中納言之書也

菅原中納言

菅原中納言

菅原中納言

吾輩の事は知れぬ所也又 程平八万二千石の南に物産
豊かにありて風俗も文明の地なり程平の地は西に人
の多し東に人の少しなり

其の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり
程平の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり
程平の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり
程平の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり
程平の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり
程平の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり
程平の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり
程平の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり
程平の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり
程平の地は西に海ありて西に人の多し東に人の少しなり

評語しを後

寛政九年事、以後

大附録紙及

諸田雑記等

九段書

一 芝草所 芝草所 芝草所 芝草所 芝草所 芝草所 芝草所 芝草所 芝草所 芝草所

市川宿後地町

百段

百段

小三宿

吾輩の事は知れぬ所也又 程平八万二千石の南に物産
豊かにありて風俗も文明の地なり程平の地は西に人
の多し東に人の少しなり

右の如く... 件... 之... 後... 之... 凡...
... 之... 凡... 之... 凡...
... 之... 凡... 之... 凡...
... 之... 凡... 之... 凡...

世... 事... 心... 之... 之... 之...
... 之... 之... 之... 之... 之...
... 之... 之... 之... 之... 之...
... 之... 之... 之... 之... 之...

譯文

之... 之... 之...

當時... 文...
... 文...

甲別... 文...
... 文...

燕... 文...

初... 文...

右... 人... 之... 之... 之...
... 之... 之... 之... 之... 之...
... 之... 之... 之... 之... 之...
... 之... 之... 之... 之... 之...

世... 事... 心... 之... 之... 之...
... 之... 之... 之... 之... 之...
... 之... 之... 之... 之... 之...
... 之... 之... 之... 之... 之...

高きより下りて之を掃きぬれば其の根も亦去る也
此の事も海に是れ其の事也其の事も亦去る也其の事も亦去る也
其の事も亦去る也其の事も亦去る也其の事も亦去る也
其の事も亦去る也其の事も亦去る也其の事も亦去る也

評語し海

寛政十年年心後

早書

甲辰初書と記河

一 空名元為海書年心後し心一評

北条高直の日記

甲辰 巨野郡

上条有別村

幸有門

右の事も亦去る也其の事も亦去る也其の事も亦去る也
其の事も亦去る也其の事も亦去る也其の事も亦去る也
其の事も亦去る也其の事も亦去る也其の事も亦去る也
其の事も亦去る也其の事も亦去る也其の事も亦去る也
其の事も亦去る也其の事も亦去る也其の事も亦去る也

評語し海

寛政十年年心後

早書

山田平行傳

一 別山田三三傳 宗右衛門宗右衛門三三傳

傳別傳書并

相原隆能可

幸助

宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳 宗右衛門宗右衛門三三傳 宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳 宗右衛門宗右衛門三三傳 宗右衛門宗右衛門三三傳 宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳

一 宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳

宗右衛門宗右衛門三三傳 宗右衛門宗右衛門三三傳 宗右衛門宗右衛門三三傳 宗右衛門宗右衛門三三傳

後年五月廿九日... 甲州... 三和文

評語(通海)

川流平在... 甲州... 三和文

三和文

有... 評語(通海)

世... 三和文

評語(通海)

東海五集年日傳

三原之夏

不極町年日傳

一 河内郡新水村年日傳

隆山十景

河内郡

新水村

河内

隆山十景

河内郡新水村年日傳... 隆山十景... 河内郡... 新水村... 河内

河内郡新水村年日傳... 隆山十景... 河内郡... 新水村... 河内

河内郡新水村

寛政十三年八月

甲子夏

陸奥国東部

一 陸奥国東部

陸奥国東部

陸奥国東部

中ノ村

百七

陸奥

寛政十三年八月
陸奥国東部
中ノ村
百七
陸奥

陸奥国東部
中ノ村
百七
陸奥

陸奥国東部

陸奥国東部

陸奥国東部

陸奥国東部

陸奥国東部

甲子八月

和賜

陸奥国東部

右ノ事ハ先帝ノ御遺詔ニ依リテ
甲斐守河野氏ノ御領地ニ於テハ
河野氏ノ御領地ニ於テハ
甲斐守河野氏ノ御領地ニ於テハ

其ノ事ハ先帝ノ御遺詔ニ依リテ
甲斐守河野氏ノ御領地ニ於テハ
河野氏ノ御領地ニ於テハ
甲斐守河野氏ノ御領地ニ於テハ

右ノ事ハ先帝ノ御遺詔ニ依リテ

河野氏ノ御領地ニ於テハ

其ノ事ハ先帝ノ御遺詔ニ依リテ

河野氏ノ御領地ニ於テハ

其ノ事ハ先帝ノ御遺詔ニ依リテ

一 河野氏ノ御領地ニ於テハ
一 河野氏ノ御領地ニ於テハ

河野氏ノ御領地ニ於テハ

河野氏ノ御領地ニ於テハ

又七

河野氏ノ御領地ニ於テハ

後より... 村野人... 山崎... 急な...
後より... 村野人... 山崎... 急な...

洋流... 海

河川... 陸列... 瀬多... 瀬多...

山崎... 瀬多...

瀬多...

瀬多... 瀬多... 瀬多... 瀬多... 瀬多...

瀬多... 瀬多... 瀬多... 瀬多... 瀬多...

瀬多... 瀬多... 瀬多... 瀬多... 瀬多... 瀬多...

瀬多...

吾等と云ふは、
 有るは、
 文政の
 三十七年

其の
 其の
 其の
 其の
 其の

洋風

寛政五年

尾張

甲光

大正

一

甲光
 大正
 研究

尾張

有るは、
 其の
 其の
 其の
 其の

正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々

正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々

正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々

正安中四月十日分ありきと云々
正安中四月十日分ありきと云々

正安中四月十日分ありきと云々

長部日記

一 高田郡多田村長部村八段又一人を移す所

切芝早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

高田早田

延平府城內西門外一里許有古寺名曰延平府城隍廟
寺之舊名曰古寺其地係古延平府城隍廟之舊址也
其地係古延平府城隍廟之舊址也

昔延平府城隍廟之舊址也其地係古延平府城隍廟之舊址也
其地係古延平府城隍廟之舊址也其地係古延平府城隍廟之舊址也
其地係古延平府城隍廟之舊址也其地係古延平府城隍廟之舊址也
其地係古延平府城隍廟之舊址也其地係古延平府城隍廟之舊址也

延平府城隍廟

延平府城隍廟

延平府城隍廟

延平府城隍廟

延平府城隍廟

延平府城隍廟

延平府城隍廟

延平府城隍廟

延平府城隍廟

延平府城隍廟

三原文ノ片ノ例ニ在る例ニ違ハズ其ノ文
評及通

